



港区立小中一貫教育校

# 白金の丘

白金の丘小学校・白金の丘中学校

令和3年6月1日

第3号

## 教育目標

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動し 強い心と健康なからだをつくる人

Tel: 小学校 3441-5363 中学校 3441-5361 Fax: 小学校 3441-0762 中学校 3441-0761  
Email:sirokanenooka-ej@minato-tky.ed.jp HP:http://sirokanenooka-ej.minato-tky.ed.jp

## 子供たち自身が変える学園へ

校長 小林 傑

例年よりも早く梅雨のような天候が続いていますが、学園はいつも子供たちの笑顔や真剣な姿があり、活気にあふれています。

さて、今年度がスタートして2か月が経ちました。この間、子供たちによって学園の雰囲気良くなったことがたくさんあります。今回はその中でも特に良かった3つを紹介します。

まずは「あいさつ」です。この取り組みは、小学校・中学校の枠を超えて学園全体で取り組んでいます。具体的には、小学生が学園生活で気持ちよくあいさつすることを目的として、「グッジョブカード」を使った取り組みを4月末から実施しています。この「グッジョブカード」は、教員のみならず一部の中学生（生徒会役員や生活委員）や小学生（代表委員）が持っており、気持ちの良いあいさつをした児童に提示し、認められるうれしさを実感できる取り組みです。加えて、中学生が登校時に校門前で毎朝あいさつ運動をしていることで、あいさつが習慣化するなど相乗効果があらわれています。

次に、ごみの問題について先日小学生に投げかけてみました（中学校については6月の朝礼で話す予定です）。世界では、持続可能な社会を目指し、2030年までに達成する様々な目標があり、その一つに消費者としての責任が掲げられています。このような大きな話から身近な生活に結び付けられるよう学園での生活をもとに話をしました。具体的には、白金の丘学園からごみをあまり出さないこと、教室や廊下にごみが落ちていたら自分から拾って捨てること、ごみの分別を確実にすること、そしてこれら3つのことを936人の全校児童・生徒が実行したら、あっという間に学園がきれいになることを伝えています。現在、児童の意識が高まり、校舎内の環境が良くなりつつあります。

3つ目は、児童の作品をホール横の地域ラウンジと2階の廊下に展示し始めたことです。展示することは、大きな意味があります。展示されることで子供たちはより真剣に作品づくりに取り組み、他の児童の作品を鑑賞することで良い刺激を受けます。何よりも校舎内が子供たちの作品で華やかになったことはうれしいことです。

教育は、きっかけづくりが大事であるといわれています。取り組みの意図を子供たちに伝え、場を設定し、取り組みが児童・生徒主体の活動となり、それを教職員をはじめとした周りの大人が褒め、認めるとともに課題も提示します（次につながる評価をすることで子供たちの活動意欲を高めます）。この良い循環は、どれが欠けても上手くいきません。逆に、子供たちの活動を丁寧に見ることで、自然と子供たち自身が学園を素晴らしいものに変えていってくれます。これからも子供たちが自分たちで学園を変えていく楽しさを感じられる教育を実施してまいります。